

道路
交通

Q 広熊道路無料化後の渋滞は



荒瀬 穂積 議員

A 〈町長〉

県・道路公社・市・町の四者協議の想定では大きな渋滞は起こらない。

〔Q1〕道路法（原則無料、有料期間30年）に則り平成32年無料化に町は同意した。
100%利用となれば、交通量は2.5倍となり町民は目先の期待（無料化）と同時に将来の不安（渋滞）を抱いている。渋滞が発生し定時性が損なわれるのでは。熊野町民の福祉（幸せ・安心）の視点から無料化までに渋滞対策工事等、先手の行政が求められる。
渋滞想定は、前提条件により異なる。最新の量子コンピュータによる検証をお願いする。

〔A1〕

昨年度から関係者間の協議会において、無料化後の円滑な交通を確保するために必要な対策を検討しており、無料化までに必要な渋滞対策を実施することで合意している。



▲ 広熊トンネル入口

主な渋滞対策としては、各交差点の交通量予想に応じた信号機の表示時間変更や右左折直進レーンの変更等を検討している。
また、海田大橋に繋がる県道に直接乗り入れるランプの整備にも着手されており（平成32年度完成予定）、このような対策をすることにより、大きな渋滞は起こらないものと想定している。

産業
観光
まちの魅力

Q 来年の町制施行100周年記念行事の計画は



諏訪本 光 議員

A 〈町長〉

節目にふさわしい事業を構築する観点から「次世代へ継承」「住民参画」を念頭に取り組んでいる。

〔Q1〕行事の概要は理解した。最初と最後の行事は何を予定しているか。また、例年実施している行事との関連性は。

〔A1〕

最初は5月のフラワーフェスティバルへの参加、最後は熊野駅伝大会になる予定。他の行事とも関連させている。

〔Q2〕

一瞬にして消える花火のような行事はすべきではない。町民の心に残ったり、関係者の技能等の向上、或いは形として残り、後々まで観光客誘致に繋がる行事を実施できないか。

〔A2〕

心に残る事業としては、絵本の作成や記念式典、フラワーフェスティバルへの参加など。例年の行事をボリュー

ムアップすることなども考えたい。観光誘致に繋がる形に残るものとしては、100周年の節目に着手する筆の里工房周辺での公園整備事業により、町の魅力を発揮していく。

〔Q3〕

町民の期待は高い。より多くの町民が参加できる行事は。

中学生のワールドカフェでもイベントの開催要望が多くあった。創意と工夫が大切だが、児童生徒が汗を流し、達成感や充実感が味わえる行事は。また、予算規模は。

〔A3〕

全町的な夏祭りを考えている。NHK番組の招致も計画しているが、決定していない。予算は、2500万円程度が見込まれる。

Q 〈荒瀬 穂積 議員〉
筆の里工房周辺はどう変わる

A 〈副町長〉

多世代が楽しみ、安らぎ、交流を深めることができる憩いの場となるよう、ハード、ソフト両面で整備を行う。



▲ 整備計画イメージ図

〔Q1〕熊野町観光交流拠点整備構想の計画書が今年3月に出来上がった。今、地域懇談会でも説明されているが、どんな事業で目的は何か。近隣にも類似施設はある。魅力が無いと町民の利用も遠くて難しい。魂を込めた内容にしてほしい。（工房の町民入館者年間900人）
当エリアは、扇状地で過去に土石流が発生

〔A1〕

本構想は、国の43%補助による公園事業を考えている。年内には国へ事業決定をお願いする。
広島平和公園から呉・大和ミュージアムの中間点として、バス等で観光客に立ち寄っていただきたい。年間15〜20万人の来場を目標としている。

した地形である。事前に安全性を検証すべき。

Q さかづら
坂面大池部分の公園整備は



民法 正則 議員

A 〈町長〉

農業用ため池本来の機能を損なわないよう留意し、観光振興との一体的整備に努める。

〔Q1〕昨年「熊野町の観光を考える会」が中心となり、大池の堤に彼岸花8000株を植えた。町の重要な散策ルートとして整備し、計画的に植栽管理をしてはどうか。

〔A1〕

農業用ため池本来の機能を損なうことがないよう留意しつつ、景観を生かした観光振興の取り組みとして、一体的な整備に努めていきたい。

〔Q2〕

植栽したツツジは伸び放題で、堤の上は水たまりができ、ジョギングやウォーキングに支障がある。ゴムチップ舗装などはしないのか。

〔A2〕

堤の上をゴムチップ舗装すると多大な費用

がかかる。今後、池の散策路については安全性を踏まえ検討したい。

〔Q3〕

暗くなると危険で散歩ができない。堤の周りに街灯をつけてはどうか。

〔A3〕

フットライト的なものを検討する。

〔Q4〕

今年は池法面の草刈りが早かったが、筆まつりの時には伸びているのではないか。毎年9月初め頃に刈ってもいい。

〔A4〕

今年は8月末のイベントに合わせて刈った。来年は9月で調整する。

